



関西医科大学と地域をつなぐ連携誌

# つなぐ

+believe

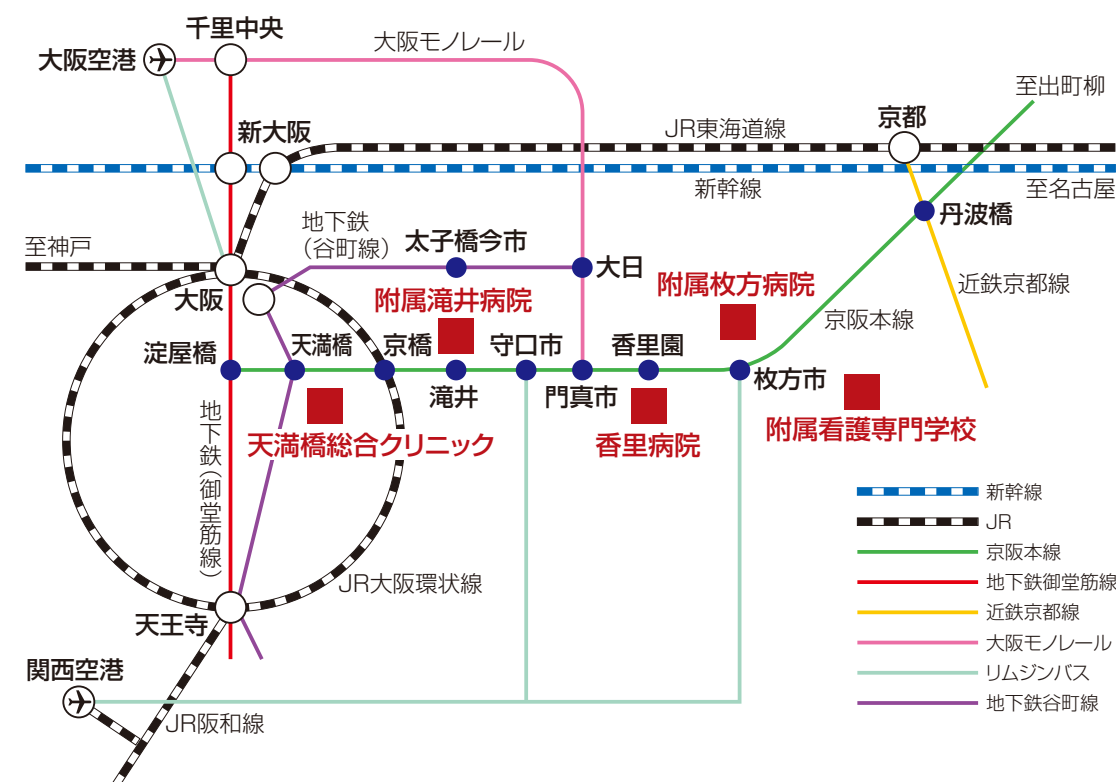
Vol.4 2015年

思いをつなぐ  
願いをつなぐ  
命をつなぐ  
地域医療をつなぐ

CONTENTS

附属枚方病院	P1-2	巻頭特集 高精度放射線治療 IMRT導入。.....	放射線治療科長 中村 聡明
	P3	産婦人科3領域、すべてに先進医療。.....	産婦人科 診療部長 岡田 英孝
	P4	臨床検査医学科とは? .....	臨床検査医学科 診療部長 薦 幸治
	P5	麻酔科医のサブスペシャリティとしての選択肢。.....	麻酔科 診療教授 中嶋 康文
	P6	呼吸器外科医による治療の現状。.....	呼吸器外科 診療教授 村川 知弘
	P7	「区域麻酔」って、ご存知ですか? .....	麻酔科 診療教授 中本 達夫
	附属滝井病院	P8	2年後のグランドオープンに向け順調に工事進行中! .....
P9		附属滝井病院が大阪府のがん診療連携拠点病院に認定! .....	がん治療・緩和ケアセンター 副センター長 徳原 克治
P10		血液のがんは治せる病気です! .....	血液腫瘍内科部長 診療教授 石井 一慶
香里病院	P11	患者さんに優しく、愛される小児科をめざします。.....	小児科 医師 田邊 裕子 小児科医 八十嶋 さくら 小児科医 駿田 竹紫
	P12	平成 27 年 5 月、皮膚科にレーザー外来を開設。.....	皮膚科
天満橋総合クリニック	P13	2人の医師が外来部門に着任。.....	内科 医師 中橋 佳嗣 内科 医師(予防医療担当) 是枝 ちづ
	P14	●私たちが考える「つなぐ」という思い。 ●アンケートへのご協力をお願いします	

関西医科大学 地域医療センター



附属枚方病院

TEL.072-804-0101(代) <http://www.kmu.ac.jp/hirakata>  
〒573-1191 大阪府枚方市新町2-3-1 地域医療連携部 病診連携課(地域医療センター事務局) TEL.072-804-2742 FAX.072-804-2861

附属滝井病院

TEL.06-6992-1001(代) <http://www.kmu.ac.jp/takii>  
〒570-8507 大阪府守口市文園町10-15 地域医療連携部 病診連携課 TEL.06-6993-9444 FAX.06-6993-9488

香里病院

TEL.072-832-5321(代) <http://www.kmu.ac.jp/kori>  
〒572-8551 大阪府寝屋川市香里本通町8-45 地域医療連携部 病診連携課 TEL.072-832-9977 FAX.072-832-9988

天満橋総合クリニック

TEL.06-6943-2260(代) <http://www.kmu.ac.jp/temmabashi>  
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-7-31(OMMビル3階) TEL.06-6943-2260 FAX.06-6943-9827

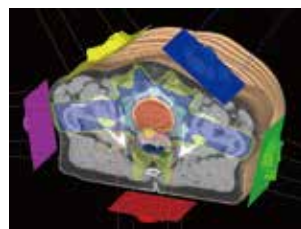
# すべてのがんに対応する先進の放射線治療！ IMRT（強度変調放射線治療）導入

## 正常組織の損傷を抑え、がん細胞に集中照射。 7月から診療スタート！

これまでの放射線療法では不可能だった高度ながん治療がIMRT（強度変調放射線治療）を導入することにより、実現できるようになりました。周囲の正常組織への照射を減らしながら、より強い放射線をごんに集中させることで、副作用を増加させることなく、手術と同等の治療成績も可能になります。1回15〜30分、痛みもなく、負荷の少ない治療を数週間続けるだけ。入院の必要もなく、これまでと同じ生活を続けながら、治療を行うことができます。



放射線治療科長  
4月1日着任  
中村 聡明

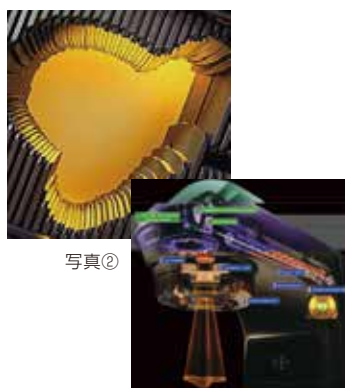


写真①

形状に合わせて照射  
範囲や強さを調節できる  
IMRT（強度変調放射線治療）

IMRTは専用のコンピュータを用いて照射野の形状を変化させたビームを使い、がんの形に合わせて放射線治療を行う新しい照射方法です。がんの部分に放射線を集中し、周囲の正常組織への照射を減らすことができ、副作用を増やすことなく、より強い放射線をごんに照射することが可能です。

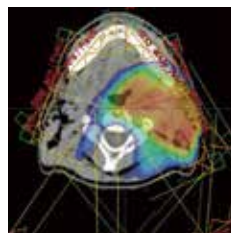
代表的な例は前立腺がん（写真①）。前立腺のすぐ後ろには直腸



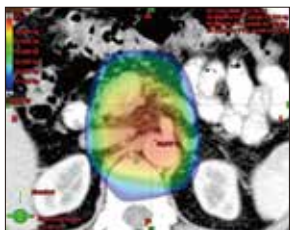
写真②

があり、ここを避けて照射することが大事なポイントになります。直腸にたくさん当たると出血するためです。IMRTは、照射の出口のところに数ミリ幅の鉛のスリットが並んでいます（写真②）。これをコンピュータ制御で動かすことで直腸にできるだけあたらないように照射範囲を調節できるようになっています。さらに立体的にさまざまな方向から照射するので線量に立体的な強弱ができる。これを活かして直腸には当たらずに、がん細胞にだけ照射することが可能になったのです。「強度変調」という名前はここから来ています。当てる位置と強さを変えることができるという意味です。これによって、放射線治療は画期的な進化を遂げました。

すべてのがんに対応する強力な武器の誕生！  
IMRTは全身のがんについても対応が可能です。例えば頭頸部がん（写真③）。頭頸部がんのこれまでの放射線治療では、唾液（つば）をつくる耳下腺に放射線があたってしまうことによる唾液分泌低下が大きな問題でした。つばには殺菌作用があり、長い期間つばが出ないと、虫歯だらけになり口の中がぼろぼろになってしまいます。IMRTでは耳下腺や脊髄など大事な組織を外して、病気の場所だけにしっかりと放射線をあてるのが可能です。これにより唾液分泌を残しつつ、頭頸部がんを根治することができるようになりました。



写真③



写真④

例えば膵がん（写真④）。膵がんはがんの中でも治療が難しいがんとして知られています。たとえ早い段階で見つかったとしても膵臓の周囲や肝臓に転移している場合が多いためです。可能ならば手術が行われますが、取りきれないことも多く、手術と組み合わせ放射線治療を行うことで治療率が向上することが期待されています。IMRTを用いて手術で取りきれない部分をしっかりと照射し、その後に手術を行うことで膵がんの根治をめざす治療を行ってまいります。

- 中村 聡明（ナカムラ サトキ）  
プロフィール
- 学歴
    - 平成8年 神戸大学医学部 卒業
    - 平成14年 大阪大学大学院 終了
  - 職歴
    - 平成14年 シカゴ大学博士研究員
    - 平成17年 大阪大学助手
    - 平成19年 大阪府立成人病センター診療主任
    - 平成21年 大阪府立成人病センター医長
    - 平成24年 大阪府立急性期・総合医療センター 副部長
    - 平成24年 京都府立医科大学講師
    - 平成27年 関西医科大学講師
  - 資格
    - 放射線治療専門医・研修指導者
    - がん治療認定医・指導責任者
  - 所属
    - 日本放射線腫瘍学会
    - 米国放射線腫瘍学会
    - 欧州放射線腫瘍学会
    - 日本医学放射線学会

## 私たち放射線治療チームが お待ちしております。

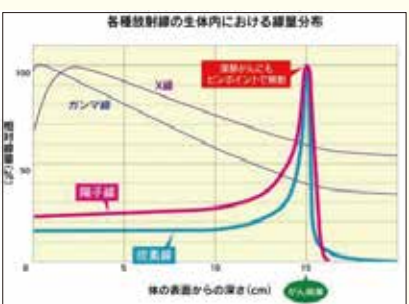
IMRTの進化は機械の精度とソフトの性能だけではありません。それを使いこなす医学物理士という専門職をはじめ、高度な教育を受けた専門のスタッフが揃って、はじめて高精度放射線治療をスタートさせることができます。

- 放射線治療医（放射線腫瘍医）  
患者さんに最適な照射の方法と投与量を決定いたします。
- 放射線治療看護師  
看護、および治療と副作用への対応のお手伝いをいたします。
- 医学物理士  
放射線腫瘍医と協力して放射線治療計画を行います。また、放射線治療における品質管理と安全管理全般を担当しています。
- 放射線治療技師  
治療を準備し、専用の医療機械を操作いたします。
- 医療スタッフ・受付  
毎日の治療を快適に受けていただくためのお手伝いをします。



## 地域医療とパトン

### これからは、粒子線、陽子線治療の時代へ。



図①

次世代の放射線治療への進化は確実に広がっています。体に当たったときにはそれほどエネルギーを出さず、ある一定の深さで一気にエネルギーを出して、直後にゼロになる性質を持った放射線です（図①）。重粒子線治療や陽子線治療がこの仲間です。正常組織への影響がさらに軽減され、がん細胞だけに効果を発揮します。放射線や薬物治療が効かない骨肉腫や悪性黒色腫にも有効だといわれ、著名な小説家が進行した食道がんを陽子線治療で治したことで、有名になりました。

### 粒子線治療・次世代の放射線治療も、私たちに ご相談ください。

次世代の放射線治療の運用、導入が全国で計画されており、互いの施設が協力しながら、治療をすすめるネットワークができています。患者さんの症状に合わせた最適な治療と施設をご案内できますので、どうぞお気軽にご相談ください。

#### ●全国で運用・導入計画中



重粒子線：5ヶ所、陽子線治療：10ヶ所

#### ●大阪重粒子線治療施設計画



## TOPICS

# 産科・婦人科・婦人科内視鏡外科 診療部長 就任

4月1日



産科・婦人科・  
婦人科内視鏡外科  
診療部長  
岡田 英孝

## 3つの分野、 すべてに先進医療。

産婦人科の中には大きく3つの分野があります。婦人科腫瘍、周産期（産科）、不妊を扱う生殖医療です。附属枚方病院にはこの3領域すべてに指導医がいて、女性診療科として思春期以降の女性の内・外性器にかかわるあらゆる病気の治療に対応しています。

できるよう、努力しています。産科では合併症や胎児疾患が疑われるハイリスクな妊娠だけではなく、正常な出産も受け入れていきます。大量出血などのリスクが出産には常にあるからです。私の専門は不妊治療です。2008年に泌尿器科と連携した「生殖医療センター」をつくり、体外受精を含む先進医療も行っています。ここまで充実した産婦人科を持つ大学病院は少ないのではないのでしょうか。

## 大学病院だからできる 医療の連携。

婦人科領域の疾患では手術治療や薬物治療（がん化学療法）を、そして放射線科と共同して放射線治療も行っています。また、良性腫瘍については安全性を優先しながらも内視鏡手術（腹腔鏡・子宮鏡）も可能な限り取り入れて、患者さんの身体的・経済的負担を軽減できる

ようにしています。小児科と連携した「総合周産期母子医療センター」も当病院の特徴のひとつです。MFCU（母体集中治療）とNICU（新生児集中治療）を備えた周産期基幹施設として、府下全域のみならず他府県からも妊産婦救急を受け入れていきます。

## 流産のリスクは 日本で20%。

日本では、年間100万人の赤ちゃんが生まれています。その中で20%が流産する危険を抱えています。母親が亡くなるケースは2万人に1人。年間50人の母親が日本でも亡くなっています。流産をくり返す母親のケースもあり、ほとんどが12週までの早い時期です。高齢出産による卵子の質の問題、不妊治療とも関わっています。だからこそ、周産期にも総合的な医療の関わりと連携が必要になってきているのです。

## 附属枚方病院だからこそ できること。

私たち附属枚方病院の強みは、3領域がちゃんと機能していること。さらに「生殖医療センター」と「総



岡田 英孝（オカダ ヒデオ）  
プロフィール

- 学歴
  - 平成5年 関西医科大学 卒業
  - 平成5年 関西医科大学 産科・婦人科 専攻修了
  - 平成7年 同大学 助手
  - 平成13年 IVF大阪クリニック 医長
  - 平成15年 オーストラリア フリンズベリー 医学研究所 留學
  - 平成17年 兵庫医科大学 臨床遺伝部非常勤講師
  - 平成17年 関西医科大学 講師
  - 平成25年 同大学 准教授
  - 平成27年 4月1日付で関西医科大学 産科・婦人科 学講座 主任教授に就任
- 所属学会等 役職
  - 日本産科婦人科学会（産婦人科専門医）
  - 日本生殖医学会（生殖医療専門医代議員）
  - 日本受精着床学会（幹事 評議員）
  - 日本受精着床学会（臨床遺伝専門医）等

# 臨床検査医学科診療部長 着任

4月16日



臨床検査医学科  
診療部長  
薦 幸治

## 臨床検査医学科とは？

大学の講座では病態検査学講座の主任教授として着任いたしました。本講座は附属枚方病院では臨床検査医学科と病理診断科を統括しており、私は臨床検査医学科の診療部長を担当し、病理診断科は植村芳子診療教授が診療部長として担当していただいております。臨床検査は、検体検査と生理機能検査の2種類に分けられます。検体検査は、尿、血液、痰などを検査する部門で、生理機能検査は、心臓エコー検査や脳波検査などの画像検査を行う部門です。客観的に病気を診断するには、患者さんの体や症状のサインの確認と迅速で精度の高い検査結果が欠かせません。

逆に言うと、臨床検査医学科は、どのような治療を行うかを決定するための最も重要な情報を診療担当医に提供するための科です。

## がんかどうかだけではなく、 治療方針決定に関与する 部門へ。

私の専門は病理診断分野です。病理診断は採取した検体の診断を行います。が、とくに良性か悪性かを見極めることが私たちの仕事の多くを占めています。最近では悪悪の判定にとどまらず、どんな治療を行うべきかという情報を提供するのにも、私たちの仕事です。また、術中迅速病理診断は、今までは断端の評価やリンパ節転移の有無を検討することが主な仕事でしたが、昨今は縮小手術を行えるか否かなど、より踏み込んだ診断をする機会も増えてきました。

病理というと顕微鏡を覗くのが仕事と考えられ、またその分野が好きで進んだのですが、正確な診断をするだけではなく、管制塔のように手術に関与したり、治療に直結する診断を行う機会が増えて、今まで以上に醍醐味を感じられる科でもあります。

## 遺伝子検査と病理検査の 橋渡しの役割を。

私は関西医科大学出身で郷里も大阪ですが、医師として多くの時間を過ごしたのは東京の築地にある国立がん研究センター中央病院で、専門は肺・縦隔腫瘍の病理診断です。私たちが見つけた肺腺がんでRETという遺伝子の転座があるのですが、0.7%の頻度しかないまれな遺伝子異常です。しかし患者さんにとっては、それが原因でがんになっているわけです。また研究レベルですがこの遺伝子異常により活性化した受容体を分子標的薬で阻害することで、腫瘍の増殖が抑制されることがわかってきました。このため効率よくこれらの遺伝子異常を同定する手法の開発が必要で、遺伝子診断と病理診断の橋渡しのなポジションに携わることができました。

現在RET遺伝子異常の肺がん臨床試験が行われていますが、その診断薬の一部は私たちが開発に携わったものが使用されています。今までは遺伝子検査という臨床検査部門が主として行う施設が多いような状況でしたが、これからは病理部門でも遺伝子検査を積極的に活用することで治療の精度を高めていくことができると考えています。

私が関西医科大学で任された病態検査学講座も、遺伝子診断と病理診断の橋渡しのなことを行える理想の環境であると考えています。

## 世界に発信する 臨床検査医学科へ。

先進医療をサポートするポジションとして、北河内の病理診断の精度向上に貢献していきます。検査のための新しい機器の導入も大切ですが、最新の知識が患者さんの命を救うことを実感する分野でもあります。診療担当医の治療をサポートする役割を担っているため、各臨床科とのカンファレンスも大事だと考えています。既知の治療ターゲットとなる遺伝子情報を見つめる体制を整えるだけではなく、新たな治療ターゲットとなる遺伝子異常の同定など、世界に発信できる臨床検査医学科をめざしていきたいと考えています。

薦 幸治（ツナグ ユキヒロ）  
プロフィール

- 学歴
  - 平成8年10月 関西医科大学 卒業
  - 平成8年4月 聖路加国際病院 内科系研修医
  - 平成10年4月 聖路加国際病院 病理診断科（内臓腫瘍）
  - 平成10年4月 関西医科大学大学院 病理学専攻 一講座
  - 平成14年6月 国立がんセンター 東病院 チェリントン
  - 平成15年6月 国立がんセンター 研究所 病理部
  - 平成17年10月 第3組織病理研究室 中央病院 主任
  - 平成17年10月 国立がんセンター 中央病院 病理学 主任
  - 平成20年10月 MD Anderson Cancer Center (Moran教授) 副部長
  - 平成21年6月 国立がんセンター 中央病院 復職
  - 平成23年4月 国立がんセンター 中央病院 病理科 医長
  - 平成27年4月 関西医科大学 病態検査学講座 主任教授
- 所属学会
  - 日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床検査学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床検査学会 日本病理学会 International Association for the Study of Lung Cancer
- 評議員
  - 日本病理学会 日本肺癌学会
- 認定 専門医
  - 日本病理学会 専門医、日本臨床細胞学会 専門医、日本臨床検査学会 管理医

# 麻酔科（心臓血管麻酔担当） 診療教授 着任

1月1日



麻酔科（心臓血管麻酔担当）  
診療教授  
中嶋 康文

医として診療教授の公募があり、関西で心臓血管麻酔専門医を育成したいという思いで着任いたしました。**女性の多い診療科として、求められています。**

## 麻酔科という仕事について

麻酔科は、中央診療部門として病院機能に深く関わっています。しかし、それぞれの麻酔科医が行っている業務内容に関しては年々特化され、ややもすると横のつながりが軽薄になりがちになるため、今日まで各科やコメディカルの方達との連携を意識した「質の高い臨床麻酔」を提供できるように、手術麻酔に関する教育・研修制度を整備してまいりました。そのような中、専門領域の心臓血管麻酔

全国的に、若い麻酔科医のほぼ半数は女性です。小児科、産婦人科、救命救急科とともに夜の呼び出しが多く負担が大きい分野です。そのような中で、麻酔科は主治医制ではないので、育児の負担の多い女性にも選択していただきやすい科です。主治医制では無いということは、引き継ぎが可能ということです。反面、男性医師や独身の女性医師の負担が大きくなっていますが、仕事のオンオフの明確化、看護師、薬剤師、理学療法士、歯科衛生士等を含めた周術期管理チームの構築で、手術麻酔の安全性を維持しながら、麻酔科医の負担を減らす気運が全国的には高まっています。

## 心臓血管麻酔という専門領域

私の専門は心臓血管麻酔です。他の麻酔との違いは心臓の動きを人工心肺に切り替えること。いったん心臓を止め、手術後に人工心肺から離脱するとき、心臓を立ち上げ、血圧、心拍数、輸液、輸血の管理を行うのが麻酔医の仕事です。もう1つ他の麻酔との違いは、手術中に経食道心エコーを使った診断を麻酔医が行うことです。循環器内科医が行っている病院もありますが、経食道心エコー認定試験を麻酔科医が始めて、急速に麻酔科医に広まりました。食道は心臓の背中側を通っているため、心臓を裏から見ることになりやす。骨を通さずにクリアに映し出せますが、患者さんは寝ている状態なので、胃カメラを通すほどの負担もありません。心臓血管麻酔医という専門医資格が必要なのはこの手順の知識と技術が必要だからです。

## もしも患者さんが、家族だったら。

よく言われることですが、患者さんに接するとき、「この人が母だったら、父だったら」そんな思いを大



中嶋 康文（ナカガミ 康文）プロフィール

- 学歴
  - 平成4年3月 京都府立医科大学 卒業
  - 平成10年3月 京都府立医科大学大学院 修了
  - 平成11年2月 医学博士
- 職歴
  - 平成12年4月 京都府立医科大学助教
  - 平成13年9月 アメリカ合衆国アイオワ大学 リサーチアシリエイト
  - 平成14年4月 アメリカ合衆国スクリブス研究所 リサーチアシリエイト
  - 平成19年4月 京都府立医科大学内講師
  - 平成25年4月 京都府立医科大学講師
  - 平成27年1月 関西医科大学診療教授
- 主な所属団体
  - 日本麻酔科学会（循環器リーディンググループ委員、指導医、専門医）
  - 日本心臓血管麻酔学会（理事、止血凝固部門委員、専門医試験問題委員、正式専門医）
  - JBOAT（試験問題委員、日本周術期経食道心エコー認定医）
  - 日本集中治療医学会（専門医）
  - American Society of Anesthesiologists

切にしようと思っています。私たちは「いのち」を預かっています。直接お話しする機会が少ない麻酔医だからこそ、最善の治療ができていくかどうか、術後も痛みがないかどうか、できるだけ早く日常生活に戻れるかどうか、家族に置き換えて患者さんと対峙することを大切にしています。

# 呼吸器外科診療教授 着任

4月1日



呼吸器外科診療教授  
村川 知弘

## 東京と大阪の医療環境の違い

これまでは東大病院の呼吸器外科で診療にあたっていました。肺がんの手術を中心に、縦隔腫瘍、胸腺腫等が得意な分野です。「必要とされれば、どこへでも行く」という思いはあったのですが、東大病院に長くいたのは、母校への愛着というより、チャレンジすること、身につけたいこと、求められることが多かったからだと思っています。もともとは広島生まれ、山口育ちな

## 「低侵襲化」がひとつのキーワード

呼吸器外科の症例は東大病院と比べてもあまり変わらないと思います。あえて言えば、こしはらく担当している患者さんの肺がんは進行したケースが多いといえるかもしれません。

## どの治療方法を選択するか

肺がんは母集団から見ると進行肺がんの方が圧倒的に多く見られます。現状ではほとんどの肺がんは集学的治療という、放射線療法、化学療法、そして私たちの外科療法を組み合わせて治療にあたっています。いろんな専門医が関わらないと治療は成り立たないのです。もともと肺気腫や間質性肺炎といった呼吸器が弱っている人ががんになるケースが多いことも問題です。低侵襲での手術は治療選択の縦の選択の幅を広げることに役立つと思っています。

## 完全鏡視下手術について

完全鏡視下手術は3〜4個の数センチメーターの創からモニターに映し出される映像を見ながら行う内視鏡手術であり、肺がんに対する肺葉切除・リンパ節郭清にも応用されています。悪性腫瘍に対する完全鏡視下手術は、根治性を維

持しつつ、かつ痛みが少なく術後の回復が早いいため、関西医科大学附属枚方病院でもこれまで同様に積極的に完全鏡視下手術を取り入れていきたいと思っています。完全鏡視下手術に限らず、世界の医療から得られた最新の知見を、地域医療へ還元していきたいと思っています。

村川 知弘（カワカミ トモヒロ）プロフィール

- 学歴
  - 平成4年 東京大学医学部医学科 卒業
  - 平成14年 東京大学大学院医学系研究科外科学専攻 修了
- 職歴
  - 平成4年 東京大学医学部附属病院外科研修医
  - 平成14年 東京大学医学部附属病院呼吸器外科助手
  - 平成22年 東京大学医学部附属病院呼吸器外科講師
  - 平成27年 関西医科大学附属枚方病院 呼吸器外科診療教授
- 主な資格
  - 外科専門医
  - 呼吸器外科専門医
  - 所属団体
    - 日本胸外科学会
    - 日本呼吸器外科学会
    - International Association for the Study of Lung Cancer
    - Society of Thoracic Surgeons（米国）
- 専門・実績
  - 呼吸器外科専門医です。前任の齊藤幸人教授の定年退官のあとを引き継ぎ、平成27年4月1日付けで関西医科大学附属枚方病院へ診療教授として赴任してきました。呼吸器外科医の担当する領域は心臓、食道を除く胸郭内臓器の手術であり、特に肺癌手術の担当が重要な役割となります。私は現代の呼吸器外科専門医として、完全鏡視下手術のような低侵襲手術から拡大手術まで幅広く対応してきました。約120万人の人口を抱える北河内医療圏の呼吸器外科診療の一助となるべく尽力したいと存じます。

●ホスピタルガーデン完成予定図  
桜並木、ツツジに迎えられながら、  
5メートル開隔の遊歩道を持つリハビリパークを備える予定です。



●木下利彦建築担当理事とともに。



附属滝井病院 病院長  
岩坂 壽一



# 2年後のグラウンドオープンに向け 順調に工事進行中！

## 附属滝井病院

### 附属滝井病院リニューアルのご報告

昨年4月に本館新設工事に着工し、  
来年、平成28年5月に本館がオープ  
ン。その後、北館、南館の改修工事な  
どを経て、平成29年秋にはホスピタ  
ルガーデン(リハビリパーク)も完成  
し、グラウンドオープンする予定です。

### 新病院に向けて

#### 診療体制・機能を強化！

乳がん治療と同時に乳房再建を行  
うプレストセンターが昨年9月よ  
りスタートし、患者さんからとて  
もご好評いただいています。マス  
コミにも取り上げられ、安心・安  
全な治療を誇る結石治療センタ  
ーは一昨年から診療を開始。北河内  
の医療圏に不足していた血液腫瘍  
内科が、2室の無菌室を完備して  
昨年10月からスタートしていま  
す。開設と同時に多くの患者さん  
を治療し、十分に地域の期待に応  
えられていると自負しています。



本年4月から大阪府がん診療拠点  
病院に指定されました。セカンド、  
呼吸器外科を新設し、増加してい  
る肺がんの外科的治療を来春から  
本格的に再開します。  
また化学療法センターの充実を図  
るとともに、心臓血管病センタ  
ーでは救急医療の前進、不整脈に対  
するアブレーション治療の再開を  
課題としています。救命救急セン  
ターでは、第一次改修工事を開始  
し、センター40床の内ICU8床  
を14床に増  
床。今年8  
月から運用  
を開始しま  
す。より重  
度の患者さ  
んの受入体  
制を強化  
していきま  
す。

### 患者サービスの

#### さらなる充実のために。

新しい病室はすべて4床室にし、  
プライベートが守れるゆったりし  
たレイアウトになります。さらに

### 春からの 医療リニューアルも 目白押し！

これまでの院外処方を院内処方  
に切り替えます。患者さんの負担額  
をできるだけ小さくすること、か  
いちばんのねらいです。課題とな  
る待ち時間は30分以内を想定して  
います。  
また近隣のマンションの自治会と  
も緊密な関係を築くため、医師・  
看護師によるミニ市民公開講座を  
進めています。少人数でも小回り  
のきくサービスで、回数を重ねて  
健康志向の街づくりに貢献したい  
と考えています。



### 岩坂 壽一 (イワサカ ツシギ)

- プロフィール
  - 昭和44年3月 関西医科大学 卒業
  - 昭和62年10月 医学博士(関西医科大学の学位を授け)
  - 昭和83年9月 米国「サウーランド州 Laney Clinic Medical Center Section of Cardiology」副科長
  - 平成4年5月 関西医科大学 心臓血管病センター 副センター長
  - 平成7年5月 関西医科大学 内科学第二講座教授
  - 平成22年4月 関西医科大学附属滝井病院 病院長就任
  - 平成24年4月 学校法人関西医科大学 常務理事就任
- 所属学会等役職
  - 日本内科学会 評議員(認定医)
  - 日本循環器学会(評議員、専門医)
  - 日本集中治療医学会(監事、専門医)
  - 日本心臓病学会(評議員)
  - 日本心臓リハビリテーション学会理事、評議員等

# 麻酔科(区域麻酔担当) 診療教授 着任

4月1日



麻酔科(区域麻酔担当)  
診療教授  
中本 達夫

### 「区域麻酔」って、 ご存知ですか？

以前は局所麻酔といっていました  
が、最近は「区域麻酔」と呼ぶこと  
が多く、技術的にも大きく進化し  
てきました。  
とくに日本の麻酔技術は世界でも  
トップレベルです。私が麻酔科医に  
なった頃は、局所麻酔には経験と  
勘が必要でした。先生がやると  
しっかりと効くの、私がやるとう  
まくいかない。そんな職人的、感覚  
的な技だったのです。大きく変わっ  
たのは、ここ十数年のことです。呼  
び名が変わったのも、こうした技

術的な進歩が背景にあったのかも  
しれません。必要な箇所を区域麻  
酔すれば、全身麻酔が必要ないレ  
ベルにまで持っていくこともでき  
ます。つまり、意識を保ちつつ、手  
術が可能なのです。ただ手術中は  
患者さんにさまざまなストレスを  
与えます。医師の会話や器具のす  
れる音に敏感になったり、見える  
ことで不安や恐怖心が増幅される  
こともあります。こうしたストレ  
スを取り除くために全身麻酔や鎮  
静を併用するケースが一般的です。  
もちろん心臓血管外科のような全  
身麻酔でしかできない手術もあり  
ます。

### 15年前にオーストラリアで 出会った最新の麻酔法。

肝臓移植の勉強で15年前にオース  
トラリアに行ったことがあります。  
そこでたまたま、肩の手術後にも  
かかわらずニコニコして帰る患者  
さんを見ました。当時は現地でも  
トピックスとして話題になってい  
た麻酔法と偶然に遭遇したのです。

### 超音波エコーを使った 神経ブロック麻酔。

オーストラリアでの出会いから数  
年で、神経を超音波で映し出す技  
術が開発され、内科医の先生が  
使っていた超音波エコーを今は麻  
酔科や整形外科の先生が使うよう  
になりました。神経の位置を確認  
しながら、針を使って薬液を決ま  
つたところに流し込むという手法が  
次々に開発されています。日本は  
この技術で先端を走っています。  
局所麻酔薬は血管に間違っるとは  
い、痙攣を起したり、とても危  
険なため、よりこの手技が重要な  
のです。

### 私のテーマはこの手技を 体系化するこ。

超音波を使いながら、神経ブロッ  
クする手技を学ぶ場合は日本では  
まだ充分ではありません。基礎的な  
ことから臨床とその応用までの縦

断的な体系化がこの区域麻酔につ  
いては必要なのです。個人的には  
研究会をつくったり、学会を通じ  
てセミナーを開いてきたのですが、  
まだ充分ではありません。ここに  
赴任させていただいたのは、区域  
麻酔という神経ブロックの手技を  
体系化させたいという強い思いが  
あったからです。また、術後の痛  
みと同様に慢性痛を治したいとい  
うのも私のテーマです。神経ブロッ  
クには有効ですが、術後のよう  
にはうまく痛みが消えません。  
ペインクリニックの仕事もしてい  
たので、他科の先生と協力し、薬物  
療法を併用しながら、慢性化した  
痛みを消す方法を探りたいと思っ  
ています。

### 中本 達夫 (ナカモト タツオ)

- プロフィール
  - 平成4年3月 大阪市立大学 卒業
  - 平成8年3月 大阪市立大学大学院医学研究科外科系  
専攻卒業、医学博士の学位を授け
- 職歴
  - 平成12年11月 オーストラリアメルボルン(Austin and  
Rehabilitation Medical Center  
Rehabilitation Medical Center)  
平成18年4月 大阪府立吉野市民病院 麻酔科 副部長  
平成23年4月 大阪府立病院 麻酔科 第三部長  
平成25年4月 大阪府立病院 麻酔科(ペインクリニック) 部長  
平成27年4月より現職
- 所属学会等役職
  - 日本麻酔科学会(指導医、専門医、ペイン・局所麻酔  
WSメンバー)
  - 日本臨床麻酔学会(超音波ガイド下神経ブロック認定イ  
ンストラクター)
  - 日本ペインクリニック学会(専門医)
  - 日本区域麻酔学会(評議員)
  - 日本心臓内科学会(登録医)
  - 日本緩和医療学会等

# 附属滝井病院が大阪府の がん診療連携拠点病院に認定！

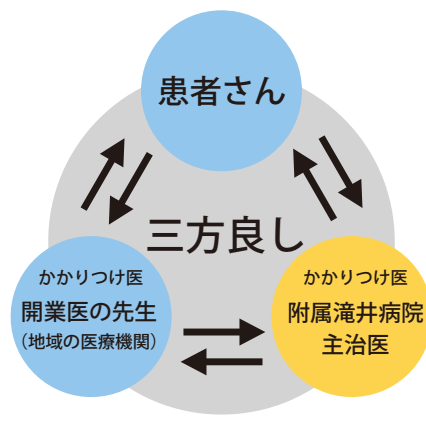


がん治療・緩和ケアセンター  
副センター長  
地域医療連携部 副部長  
徳原 克治

附属滝井病院はがん治療について多くの実績を持つ病院ではありませんが、がん診療連携拠点病院の指定は受けていませんでした。日本に多いといわれる5つのがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)すべてに指定の要件を満たす必要があり、審査のタイミングもありましたが、ようやく今年度より指定要件を満たす医療施設として認可をうけることができました。これからは開業医の先生たちとの連携をさらに深め、がん治療の成績向上に努めていきたいと思えます。

## 2人の「かかりつけ医」という考え方。

これまでは附属滝井病院にご紹介いただいたがん患者さんは、術後も引き続き附属滝井病院で経過観察させていただくことが多かったと思います。たとえば私が担当した大腸がん治療の後、術後5年間は附属滝井病院で経過観察を行うのですが、高血圧などの大腸がん以外の疾患フォローまですることもありました。これは患者さんにとって、専門性の高い治療が受けられ



ないことのみならず、ご紹介いただいた地域医療機関の先生との繋がりが切れてしまうことにもなりかねません。これからは、ご紹介いただいたがん疾患の患者さんの術後フォローを地域医療機関の先生と附属滝井病院とが共同で進めていきたいと考えています。

## 三方よしという関係づくり。

具体的には大腸がんの術後は「大腸がん術後連携パス」を用いて経過観察していきます。たとえばステージ1と2の患者さんであれば術後1か月目と2か月目は地域の先生にフォローいただき、附属滝井病院では3か月目に1回目の経過チェックを行います。それ以降も交代で、地域の先生と連絡を取りながら経過観察していきます。そのため、患者さんの医療データを地域の先生と共有させていただくことも必要となってきますが、「術後連携パス」導入により患者さんにとって、より安心なケア体制を整えることができます。これまでは十分にできていなかった体制ですが、がん診療連携拠点病院の指定を受けたことをきっかけに、

地域の先生方とこれまで以上に深い連携構築に努めたいと考えています。そして医療連携を通じて患者さん、地域医療機関、附属滝井病院が三者とも受益できる関係、いわば「三方よし」の関係を築けるよう、微力ながら尽力していきたいと考えています。



●術後連携パス  
がん患者さんの経過チェックを術後連携パスに控えて、共有させていただきます。

- 徳原 克治(トクハラ カジジ)プロフィール
  - 経歴
    - 平成元年 金剛千里高校 卒業
    - 平成2年 関西医科大学 入学
    - 平成8年 関西医科大学 卒業
  - 勤務
    - 平成8年 関西医科大学 外科学講座に勤務
    - 平成17年 関西医科大学大学院入学、iNOS誘導の研究に従事
    - 平成20年3月 博士号取得
    - 平成20年4月 関西医科大学附属病院に消化器外科医として勤務
    - 平成22年7月 関西医科大学附属病院にて下部消化管(小腸、外科)に専従
    - 平成24年4月 関西医科大学附属病院 消化器外科診療講師
    - 平成26年4月 関西医科大学附属滝井病院 外科診療講師
    - 平成26年12月 関西医科大学附属滝井病院 地域医療連携部 副部長着任
    - 平成27年4月 関西医科大学附属滝井病院 がん診療連携推進センター 副センター長着任
    - 平成27年5月 関西医科大学附属滝井病院 外科講師
    - 平成27年5月 所属、資格
      - 所属、資格
        - 日本外科学会専門医・指導医
        - 日本消化器外科学会専門医・指導医
        - 日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科)
        - 消化器がん外科治療認定医
        - 日本がん治療認定医機構暫定教育医
        - 大腸肛門病学会専門医
        - 身体障害者福祉法指定医(ぼうしゅ・直腸機能障害)
        - 大阪府難病指定医
        - 近畿外科学会 評議員

# 血液腫瘍内科部長 着任

平成26年10月1日



血液腫瘍内科部長  
診療教授  
石井 一慶

## 血液のがんは治せる病気で！

白血病、悪性リンパ腫など、かつて血液腫瘍は不治の病とされてきました。著名な文化人たちがこれらの病に倒れたことや小説などのテーマに取り上げられたことで、悲劇的な象徴のような記憶が、私たちに残っているからかもしれません。しかし、医療分野の中では血液のがんは最も進んだ領域の一つで、白血病に対する分子標的治療、悪性リンパ腫に対する抗体療法など、先進医療が年々充実しています。細胞療法法の代表である骨髄移植は40年の歴史があり、すでに確立した治療法です。以前は40歳までといわれてい

ましたが、今では状態が良ければ70歳まで移植を受けることが可能です。感染症、免疫抑制剤などの合併症治療の発展により、治療成績も大きく向上しています。もはや血液腫瘍を含めた血液疾患は治せる時代です。

## もともとは公衆衛生の道を目指していました。

公衆衛生の中に国際保健という分野があります。自分もこの道に進みたいというのが医師になるときの夢でした。具体的にはWHOで仕事をしたいのです。一つの国に留まらず国境を超える感染症、例えばエボラ出血熱やSARSなどが、日本でも話題になりましたが、世界を飛び回りながら、ウイルスによるパンデミックな脅威と闘う仕事があったのです。その仕事をするために公衆衛生に進もうと思いましたが、患者さんを診ることなく公衆衛生に進むよりは、内科の研修をしてから公衆衛生に進んだ方が良く、当時の血液内科の教授からアドバイスを受けました。4年間内科を研修し、その後3年間公衆衛生に進みました。しかしながら最終的には思うようなポジ

ションがWHOで見つからず、内科に戻ってきました。4年間の内科研修時に血液内科の教室に入局したのですが、その時の教授の影響が大きく、血液内科として再び臨床に戻る決意をしました。白血病と闘うのは、パンデミックな感染症と闘ったかった私の夢の延長かもしれません。

## 抗がん剤と骨髄移植どちらを選ぶか。

抗がん剤によって治るケースもありますが、究極は骨髄移植、つまり、健康な人と骨髄を入れ替える治療成績の方が良いというのが事実です。その一方、骨髄移植による合併症でいのちを失う場合もあります。概して言えば移植をせずに抗がん剤だけで治る人の割合が約3割です。若い人であれば、7割は移植によって助かるのですが、1割の人が移植合併症のために亡くなってしまいます。そのため、抗がん剤を受けたあと何もしなければ3割の確率で長生きできたのに、移植をしたために1割の確率で早く亡くなるかもしれないという言い方もできます。

## 手遅れという時期があります。

血液のがんは、ステージが進んでからも治るケースが多いといわれています。しかし手遅れという時期もあります。患者さんの症状は腫瘍の種類によつてさまざまです。例えば急性白血

病の場合は、風邪でもないのに熱が引かない、だるい、動く息切れする、あるいは打撲でもないのに青あざができる、血が止まらないといった症状が出ます。採血すれば一般の先生でも診断できるのですが、症状だけで判断するのが難しいケースもあります。診断が遅れたために、亡くなったということに訴訟に発展するケースもありました。進行しすぎると、どれだけいい薬があっても助かりません。だから、患者さんの異変を見つけて、私たちに早く紹介していただくことで救命につながるがあります。だからこそ、開業医の先生方との勉強会や懇親会にも積極的に参加しています。

## 石井 一慶(イシイ カズシ)プロフィール

- 経歴
  - 平成元年3月 高知医科大学医学部医学科 卒業
  - 平成5年10月 世界保健機構(WHO) 西太平洋地域事務局 インターン
  - 平成7年4月 米田クリニック(大阪)大学医科ウエルス学講座リサーチフェロー
  - 平成10年5月 天理よろづ相談所病院血液内科 医員
  - 平成13年3月 関西医科大学附属滝井病院 内科第2講座 助手
  - 平成14年1月 市立岸和田市民病血液内科 部長
  - 平成22年4月 関西医科大学内科第2講座 講師
  - 平成25年8月 関西医科大学内科第2講座 准教授
  - 平成26年10月 関西医科大学附属滝井病院 血液腫瘍内科 診療部長 教授
  - 平成27年4月 関西医科大学附属滝井病院 がん治療センター センター長
- 資格
  - 日本内科学会近畿支会評議員(総合内科)専門医認定医、日本血液学会評議員、近畿血液学会評議員、指導医専門医、日本造血細胞移植学会評議員、造血細胞移植認定医、近畿輸血細胞治療学会評議員、日本輸血細胞治療学会認定医、日本サイトメトリ学会評議員、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育認定医、日本感染症学会JID(日本)医師会産業界、日本骨髄バンク調剤医師、アメリカ血液学会国際委員会、アメリカ血液学会骨髄移植委員会、ヨーロッパ血液学会、ヨーロッパ血液学会移植学会員

皮膚科

平成27年5月  
皮膚科にレーザー外来を  
開設。

香里病院皮膚科ではレーザー療法として、以前から炭酸ガスレーザーによるホクロや脂漏性角化症（老人性疣贅）、その他の皮膚腫瘍の治療を行っていましたが、今回新たに『QスイッチNd:YAGレーザー』による保険外診療を開始しました。『QスイッチNd:YAGレーザー』はシミ（老人性色素斑、日光黒子）やそばかす（雀卵斑）、老人性疣贅の他、内服や外用との併用で肝斑を改善していくことも可能です。肌質改善や色調改善といった美容的効果も期待できます。気になる症状がある方はお気軽に当院スタッフまたは医師にご相談ください。症状に応じた治療をご提案させていただきます。

※肝斑とは  
顔面のほぼ左右対称性に出現する淡褐色あるいは褐色の色素斑で、広範囲に見られることもあります。女性ホルモンによるメラノサイトの活性化や紫外線暴露、物理的刺激などが増悪因子といわれています。



Qスイッチ  
Nd:YAGレーザー

新たにレーザー機器を導入しました。

小児科

患者さんに優しく、愛される小児科をめざします。

香里病院の小児科では、毎日の午前の診療は一般外来を行います。また平日夕方には夕方診療(夕診)を行いますので、お子さんが学校等から帰宅した後でも受診していただけます。このほか予防接種、乳児健診、小児内分泌外来、小児心臓外来といった特殊外来を開き、それぞれ専門的な診療を行います。

子どもにとって何がいちばん大事なのかを考えて、診療を行います。コミュニケーションを大切に、お子さんとご家族のお話をしっかり聞くように心がけています。



小児科医 駿田 竹繁  
(スルダ チクシ)

プロフィール  
平成23年 関西医科大学医学部 卒業  
専門分野 小児科一般

小児科 医長 田邊 裕子  
(タナベ ユウコ)

プロフィール  
平成17年 福井大学医学部 卒業  
専門分野 小児科一般、小児内分泌・代謝  
認定資格 日本小児科学会専門医  
内分泌代謝科(小児)専門医

小児科医 八十嶋 さくら  
(ヤシマ サクラ)

プロフィール  
平成21年 関西医科大学医学部 卒業  
専門分野 小児科一般  
認定資格 日本小児科学会専門医

私たち3人で、小児科を担当しています。

香里病院の夕方診療

日中に受診する時間がとれない方のために、夕方診療を実施しています。内科・小児科は平日の毎日、他の科も曜日を限って受診できます。どうぞご利用ください。

受付時間：月曜日～金曜日 午後5時～午後7時（初診・再診）

地域医療機関からの紹介であれば午後8時まで受付します。

夕方診療科	月	火	水	木	金
内科	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○
外科(血管外来)	○				
乳腺外科	○			○	
整形外科		○ 初診のみ			
腎泌尿器外科	○		○	○	
耳鼻咽喉科	○	○		○	○
婦人科		○		○	

診療体制

診療科	責任者医師	診療内容(主な疾病名等)
内科	高山 康夫 廣原 淳子 高橋 延行	呼吸器疾患(喘息、肺炎、慢性閉塞性肺疾患、肺癌)、循環器疾患(高血圧症、虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈、心不全)、腎臓疾患(腎炎、ネフローゼ、慢性腎不全、透析療法)、内分泌代謝疾患(甲状腺疾患、糖尿病、高脂血症)、肝臓病(ウイルス性肝炎、脂肪肝、肝炎、肝硬変)、消化管疾患(食道、胃、大腸、胆のう、膵臓疾患)、便秘
小児科	田邊 裕子	●小児科疾患全般の診療 ●特に小児内分泌疾患(低身長、糖尿病、甲状腺疾患、思春期の異常など)についての専門的診療 ●その他感染症、アレルギー疾患、川崎病など
外科	吉田 良	低侵襲的な腹腔鏡下手術を積極的にを行います。入院期間の短縮、痛みの少ない治療など、患者さんのQOLを考慮した治療を心がけます。対象疾患は消化器外科(胃癌、大腸癌、直腸癌)、炎症性腸疾患、排便機能障害、胆石症、鼠径ヘルニア、痔、脱肛、肛門周囲膿瘍
乳腺外科	吉田 秀行	乳癌、乳癌検診の要検査、乳腺症、乳腺炎、乳房にできもの、しこり、乳腺腫瘍等の検査(一般病院ではできないマンモトーム生検を含む)、治療(温存手術等)を行います。また、化学療法(入院・外来通院)も行っています。

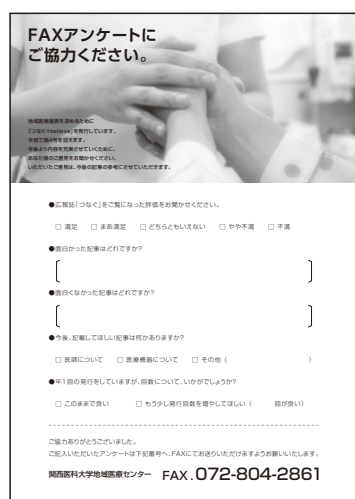
診療科	責任者医師	診療内容(主な疾病名等)
血管外科	駒井 宏好	末梢動脈疾患(下肢閉塞性動脈硬化症など)、末梢静脈疾患(深部静脈血栓症・静脈瘤など)、腹部以下大動脈疾患
整形外科	児島 新	四肢の外傷(大腿骨頸部骨折を含む)、手の外科一般(外傷～再建)、炎症性疾患、変形性膝関節症(股関節を除く)、良性骨軟部腫瘍、脊椎疾患、手の指が動かない、腰痛、関節が腫れる、痛風、骨髄炎、関節リウマチ、骨粗鬆症など。<除外疾患>手術適用の脊椎疾患、THA適用の股関節症、悪性骨軟部腫瘍
皮膚科	上尾 礼子	●皮膚科疾患全般 湿疹、アトピー性皮膚炎・蕁麻疹・中毒疹・薬疹、皮膚感染症(細菌・真菌・ウイルス)、座瘡、自己免疫性水疱症、乾癬、褥瘡、下腿潰瘍、陥入爪、巻爪のワイヤー療法、液体窒素冷凍凝固術、皮膚腫瘍、うおの目、タコ、イボ、ケロイド、ヘルペス(帯状疱疹)、円形脱毛症、白斑(手術療法含む)、水イボ、シミ、ホクロ、肝斑 ●光線療法 ナローバンドUVB療法 ●レーザー治療 炭酸ガスレーザー、QスイッチNd:YAGレーザー
腎泌尿器外科	福井 勝也	排尿障害、尿路悪性腫瘍、腎腫瘍、尿路結石、膀胱腫瘍、前立腺疾患、膀胱炎、泌尿器科一般
眼科	埜本 慎	白内障、緑内障、網膜剥離、ぶどう膜炎、糖尿病網膜症、ドライアイ、角膜炎、網膜硝子体疾患、外眼筋疾患、涙道疾患、眼瞼疾患、眼表面(角結膜疾患)、斜視、顔面打撲で目が開かない、目やに、充血、さか腫毛

診療科	責任者医師	診療内容(主な疾病名等)
耳鼻咽喉科	濱田 聡子	副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、鼻出血、中耳炎、難聴、めまい、顔面神経麻痺、咽喉頭炎、咽喉頭違和感、扁桃炎、頸部腫瘍、頸部リンパ節腫大、耳下腺炎
婦人科	生田 明子	子宮疾患(子宮筋腫、子宮内膜炎、子宮頸部異形など)卵巣疾患(卵巣嚢腫など)、更年期障害、その他一般
透析センター	高橋 延行	維持血液透析を行っています(月曜日～土曜日)
化学療法部	吉田 良	外科(大腸癌、胃癌)、婦人科、乳腺科の抗癌剤治療を化学療法室で行っています。
内視鏡部	廣原 淳子	上部・下部消化管疾患の診断(色素内視鏡・NBI-EUS等)、上部・下部消化管早期悪性腫瘍の内視鏡的治療(EMR・ESD等)、バルーン拡張術、PEG造設、胆のう、胆道、膵臓疾患の内視鏡的診断と治療(ERCP・ENBD・ERBD等)
放射線部	大村 直人	画像診断を通して、地域医療に貢献します。
機能訓練室(リハビリテーション)	児島 新	脳疾患、整形外科疾患、内科疾患、術後などの回復治療を行います。

# 私たちが考える「つなぐ」という思い。

私たちは地域医療を支えるみなさまとの相互理解を深め、より強固に、よりスムーズに医療連携を支えていくため、  
 関西医科大学の附属4施設  
 (附属枚方病院、附属滝井病院、香里病院、天満橋総合クリニック)の  
 今をお知らせするとともに、  
 みなさまのご意見を広く拝聴していきたいと考えております。

本誌のタイトル「つなぐ+believe」には、  
 医療をつなぐ、命をつなぐ、願いをつなぐ、  
 そのためには医療機関同士の信じあえる心が  
 支えとなるという思いを込めています。



## 同封のアンケートにご協力をお願いいたします。

お忙しい中、お手数をおかけしますが、  
 編集内容の質向上にご協力いただけますよう、  
 お願いいたします。  
 ご記入いただいたアンケートは下記番号へ、  
 FAXにてお送りいただけますようお願いいたします。

関西医科大学地域医療センター  
**FAX. 072-804-2861**

## 消化器内科診療を強化します。



天満橋総合クリニックの外来部門は、新たに是枝ちづ医師と中橋佳嗣医師が診療に加わり、消化器部門の診療が強化されました。両医師は、消化器疾患のなかでも、とくに肝臓病の診療を専門分野としています。  
 また、消化器部門の診療を強化するため、経鼻内視鏡などの内視鏡検査機器を充実させ、さらに肝疾患の精密な診断にきわめて有用な超音波検査装置「Aplio A500」を新たに導入しました。これには、びまん性肝疾患を定量的に評価可能な Acoustic Structure Quantification

### 中橋医師を中心に、肝臓専門医がDAA治療！

近年、C型肝炎ウイルス(HCV)の特定機能領域を標的とする直接作用型抗ウイルス薬(DAA)の開発が進み、インターフェロン(IFN)フリー治療が可能となってきました。臨床試験の結果では、これらの治療は副作用も少なく、驚異的に良好な治療成績を示しています。今後、IFNフリーのDAAによる治療は急速に普及するものと思われます。当クリニックでは、大学附属病院においてC型肝炎の豊富な治療実績を有する中橋医師を中心に、肝臓専門医がDAA治療に対応します。これらの治療により、感染症としてのC型肝炎は、今後激減すると予想されます。しかし、肝炎治療後も肝がん発症のリスクがあり、定期的な検査が必要です。当クリニックでは、C型肝炎治療後の定期的な検査を、患者さんの利便性に配慮して行います。肝がん発症の危険因子であるにもかかわらず放置されていることが多いB型肝炎ウイルスキャリアの定期的検査にも対応します。

### 是枝医師を中心に代謝性の肝疾患に対応！

治療の進歩によりウイルス性肝炎は確実に減少に転じていますが、一方では肥満人口の増加に伴い、メタボリックシンドローム

(ASQ)とElastographyを搭載しています。これにより、肝生検のような侵襲的検査にたよらなくても、びまん性肝疾患の障害の程度をかなり詳細に評価することが可能となります。  
 天満橋総合クリニックの内科外来は、ウイルス性肝炎、代謝性肝疾患、自己免疫性肝疾患などの広範な肝疾患の診療に対応できます。また、肝疾患以外の消化器疾患にも広く対応できます。

の肝病変と言われている、非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)、非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)などの代謝性肝疾患は明らかに増加しています。NAFLDの日本人有病率は30%に近づいており、特にNASHは進行性の肝疾患であり、放置すると肝硬変へと進展、さらに肝がん発症の重要な原因ともなっています。今後ますますこの分野への対策が重要となってきます。当クリニックでは、大学附属病院においてNASHの豊富な治療実績を有する肝臓専門医は是枝医師が中心となり、最新の超音波検査機器を用いた診断等による病状の正確な診断を行い、さらに糖尿病専門医や看護師、保健師、栄養士が加わることで包括的チーム医療を行なっています。

### チーム医療で高度で良質な内科診療を機能的に行います。

天満橋総合クリニックは、他の附属病院と比較すれば入院設備を持たない小規模なクリニックですが、最新の検査機器も導入されており、総合内科専門医、消化器専門医、肝臓専門医、腎臓専門医、糖尿専門医、循環器専門医、放射線科専門医、超音波専門医が常勤として勤務しています。これら医師に加えて栄養士、看護師、保健師がチームとなって、関西医科大学附属の医療機関に相応しい高度で質の高い診療を、患者さんの利便性を図りつつ、効率的に行います。



内科 医師  
**中橋 佳嗣 (ナカハシ ヨシツグ)**  
**プロフィール**  
 ●略歴  
 昭和60年 大分医科大学 卒業  
 関西医科大学内科学 研修医  
 昭和61年 関西医科大学内科学第三講座 研修医  
 兵庫県立尼崎病院 内科 研修医  
 平成3年 関西医科大学内科学第三講座 研究医員  
 平成4年 関西医科大学内科学第三講座 助手  
 平成5年 米国 University of Colorado Health Sciences Center, Department of Pharmacology, Postdoctoral fellow  
 平成19年 関西医科大学内科学第三講座 附属枚方病院 病院講師  
 平成24年 関西医科大学内科学第三講座 診療講師  
 平成27年 関西医科大学天満橋総合クリニック 内科医長  
 ●主な資格  
 日本肝臓学会専門医  
 日本消化器病学会専門医  
 日本内科学会認定医  
 日本医師会認定産業医  
 医学博士



内科 医師(予防医療担当)  
**是枝 ちづ (コレエダ チヅ)**  
**プロフィール**  
 ●略歴  
 昭和52年 関西医科大学 卒業  
 昭和52年 関西医科大学 内科学第三講座 研修医  
 昭和53年 関西医科大学 内科学第三講座 入局  
 昭和55年 関西医科大学 内科学第三講座 助手  
 公立忠岡病院 医員(消化器内科)  
 昭和57年 関西医科大学 内科学第三講座 助手  
 平成19年 関西医科大学 内科学第三講座 附属滝井病院 病院講師  
 平成21年 関西医科大学 内科学第三講座 附属滝井病院 肝臓病センター兼任  
 平成24年 関西医科大学 内科学第三講座 診療講師  
 平成26年 関西医科大学天満橋総合クリニック 内科医長(予防医療担当)  
 ●主な資格  
 日本肝臓学会専門医  
 日本消化器内視鏡学会専門医  
 日本消化器病学会専門医  
 日本内科学会認定医  
 日本医師会認定産業医  
 医学博士